

、下線…学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動

…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

3年

※年度末の学習内容が指導しきれなかった場合には、次年度に送ることも考えられる。

※上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをすること

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
毛筆学習のはじめに (P1-4) ◎【知識及び技能】(3)エ(イ) ◎文字を書くことに適した姿勢と、筆や鉛筆などの筆記具の持ち方を理解することができる。 ○毛筆学習で扱う用具の名称と扱い方、片づけ方を理解することができる。	適宜	適宜	○教師の実演や、教科書に示されている写真、絵を見たりしながら、書字に適した姿勢と筆記具の持ち方を確認し、その型をとる。 ○毛筆学習で扱う用具の名称と扱い方、片づけ方を確認し、その型をとる。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 毛筆学習に適した姿勢や筆記具の持ち方、用具の名称や扱い方、片づけ方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 合い言葉や写真を見て、適切な姿勢や持ち方、扱い方や片づけ方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字を丁寧に書くために、適切な姿勢や持ち方、扱い方や片づけ方を実践しようとしている。
小筆の持ち方と使い方 (P5) ◎【知識及び技能】(3)エ(ウ) ○小筆の持ち方と扱い方、片づけ方を理解することができる。	適宜	適宜	○教師の実演や、教科書に示されている写真を見たりしながら、小筆の持ち方と扱い方、片づけ方を理解し、その型をとる。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 小筆にも、書字に適した持ち方と扱い方、片づけ方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 写真を見て、書字に適した持ち方と扱い方、片づけ方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小筆の適切な持ち方と扱い方、片づけ方を実践しようとしている。
はじめの練習 (P6-7) ◎【知識及び技能】(3)エ(ウ) ○姿勢と筆の持ち方に注意し、筆圧を理解して、様々な太さの線を書くことができる。	1	1	○力の入れ方を変えながら様々な太さの線を書いて、筆圧を変えて書く方法を理解する。 ○姿勢と筆の持ち方に注意し、筆圧の変え方を理解して、様々な太さの線を書く。	【知識・技能】 毛筆で文字を書くときは、筆圧を意識する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 様々な太さの線を書けるように、筆圧のかけ方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆圧のかけ方を意識して、様々な太さの線を書こうとしている。
一 横画 (P8-10) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○「横画」の筆使いを理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「二」を書いて、「横画」の筆使いを理解する。 ○「横画」の筆使いを意識して、「三年生」「寺」「幸」などを硬筆で書く。	【知識・技能】 「横画」の筆使いと名称(始筆・送筆・終筆)があることを理解している。 【思考・判断・表現】 「トン」「スーッ」「ピタ」という表現を確かめて、「始筆」「送筆」「終筆」を書くときのリズムのとり方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「横画」の筆使いを意識して、硬筆に生かそうとしている。
なぜ？なに？書写のふしぎ 筆はどうやって作られているの？ (P11) ○毛筆の製造工程や原料を知る。	適宜	適宜	○毛筆の製造工程や原料について確かめる。	【知識・技能】 毛筆の製造工程や原料を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 毛筆に関連する様々な資料や情報に関心をもとうとしている。
二 たて画とはらい (P12-14) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○「縦画」と左右の「払い」の筆使いを理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「木」を書いて、「縦画」と左右の「払い」の筆使いを理解する。 ○「縦画」と左右の「払い」の筆使いを意識して、「住人」「本州」「太平洋」を硬筆で書く。	【知識・技能】 「縦画」と左右の「払い」の筆使いがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「縦画」は「横画」の筆使いの違いや、左右の「払い」の筆使いの違いはどこかを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「縦画」と左右の「払い」の筆使いを意識して、硬筆に生かそうとしている。
なぜ？なに？書写のふしぎ すみはどうやって作られているの？ (P15) ○墨の製造工程や原料を知る。	適宜	適宜	○墨の製造工程や原料について確かめる。	【知識・技能】 墨の製造工程や原料を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 墨に関連する情報に関心をもとうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
三 おれとはね (P16-18) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○「折れ」と「はね」の筆使いを理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「月」を書いて、「折れ」と「はね」の筆使いを理解する。 ○「折れ」と「はね」の筆使いを意識して、「有名」練習「野球」を硬筆で書く。	【知識・技能】 毛筆を使って「折れ」と「はね」の筆使いを再確認している。 【思考・判断・表現】 「折れ」と「はね」を書くときの穂先の向きを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「折れ」と「はね」の筆使いを意識して、硬筆に生かそうとしている。
小筆で書いてみよう (P19) ◎【知識及び技能】(3)エ(ウ) ○小筆の持ち方に注意し、自分の名前と学年を書くことができる。	適宜	適宜	○教師の実演や、教科書に示されている写真を見たりしながら、小筆の持ち方と扱い方、姿勢などを理解し、その型をとる。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 小筆は、自分の名前や学年を書くことに適していることを理解している。 【思考・判断・表現】写真と教材を見て、書字に適した小筆の持ち方と扱い方、姿勢などを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小筆の適切な持ち方と姿勢で文字を丁寧に書こうとしている。
四 曲がりとおれ、点 (P20-23) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○「曲がり」と「折れ」の筆使いの違い、「点」の筆使いを理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「ル」を書いて、「曲がり」と「折れ」の筆使いの違い、「点」の筆使いを理解する。 ○「曲がり」と「折れ」の筆使いの違い、「点」の筆使いを意識して、「ピザ」「カニ」を硬筆で書く。	【知識・技能】 毛筆を使って「点」の筆使いと、「曲がり」と「折れ」の筆使いの違いを再確認している。 【思考・判断・表現】 「点」の筆使いや、「曲がり」と「折れ」の筆使いの違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「曲がり」と「折れ」の筆使いの違い、「点」の筆使いを意識して、硬筆に生かそうとしている。
学習の進め方 (P24-27) ○書字の課題を、自分で考えたり他者と話し合ったりして解決する書写学習の方法を理解することができる。	適宜	適宜	○書写学習の一連の流れを知り、自学自習や他者との意見交換を通して、効果的に学習する方法を理解する。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 書写学習に適した学習方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 自分の課題がどのように学習することで解決できるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活でも整った文字を書けるように、「学習の進め方」を実践しようとしている。
五 ひらがな (P28-32) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(ウ) ○漢字と平仮名の筆使いの違いを理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「つり」を書いて、漢字と平仮名の筆使いの違いを理解する。 ○漢字と平仮名の筆使いの違いを意識して、俳句を硬筆で書く。	【知識・技能】 漢字と平仮名の筆使いの違いがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 漢字と平仮名の筆使いの違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢字と平仮名の筆使いの違いを意識して、硬筆に生かそうとしている。
なぜ？なに？書写のふしぎ ひらがなはどうやって生まれたの？ (P33) ○平仮名の成り立ちを知る。	適宜	適宜	○平仮名のもとになった漢字を確かめる。 ○資料写真などを見て、平仮名が日本で古くから伝わる文字文化であることを知る。 ○平仮名のもとになった漢字を調べたり、ミニクイズに取り組んだりする。	【知識・技能】 平仮名は、漢字をもとにして日本で生まれた文字であることを理解している。 【思考・判断・表現】 平仮名と、そのもとになった漢字との共通点や関わりを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 平仮名のもとになった漢字を調べようとしている。
六 画の長短と文字の中心 (P34-37) ◎【知識及び技能】(3)エ(イ)(ウ) ○画の長短の違いと文字の中心の捉え方を理解して書くことができる。	3	3	○毛筆で「山里」を書いて、画の長短の違いと文字の中心の捉え方を理解する。 ○画の長短の違いと文字の中心の捉え方を意識して、「平」「実」「筆」を硬筆で書く。	【知識・技能】 字形を整えるために画の長短の違いと文字の中心の捉え方に注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 長短の違いに注意する画と、中心となる画がどこにあるか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 画の長短の違いと文字の中心の捉え方を意識して、硬筆に生かそうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
七 文字の大きさと配列 (P38-41) ◎【知識及び技能】(3)エ(イ) ○文字の大きさと配列の整え方を理解して書くことができる。	4	4	○葉書の表書きと裏書きの書き方を確かめて、文字の大きさと配列の整え方を理解する。 ○文字の大きさと配列の整え方を考えて、葉書の表書きをする。	【知識・技能】 文字の大きさと配列に注意して書く必要があるということを理解している。 【思考・判断・表現】 文字の大きさと配列を考える部分はどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字の大きさと配列の整え方を考えて、実際の書式にも生かそうとしている。
八 三年生のまとめ (P42-45) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○三年生で学習したことを振り返り、文字を書いて確かめることができる。	3	2	○「主」「玉乗り」「高」「ガーゼ」などをなぞったり書いたりして、三年生で学習した文字の書き方を確かめる。	【知識・技能】 三年生で学習したことを理解している。 【思考・判断・表現】 何を意識してそれぞれの文字を書けばよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 三年生で学習したことを活用して書こうとしている。
		1	○三年生で学習したことに気をつけて、四季をうたった俳句を書く。	
資料編 書写のしりょう館 その一 ローマ字 (P46-47) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○ローマ字の書き方を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○ローマ字表を確かめたり、大文字と小文字のローマ字のなぞり書きなどをして、ローマ字の書き方を理解する。 ○ローマ字の書き方を意識して、自分の名前や地名などをローマ字で書く。	【知識・技能】 漢字や仮名などと書き方が異なることを理解している。 【思考・判断・表現】 ローマ字の五十音の表記の法則性を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ローマ字の書き方を意識して、様々な言葉や名称をローマ字で書こうとしている。
その二 ひらがな・かたかなの表 (P48) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○平仮名・片仮名の五十音を、筆順や書き方に注意して書くことができる。	適宜	適宜	○これまでに学習したことに注意して、平仮名・片仮名を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した平仮名・片仮名の書き方を全て活用する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習した書き方をどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの平仮名・片仮名の書き方を意識して書こうとしている。
その三 書き初めをしよう (折りこみ①) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ)(ウ) ○書き初めに適した姿勢を理解して書くことができる。 ○三年生で学習したことを生かして、書き初めを書くことができる。	3	1	○書き初めに適した姿勢を理解し、その型をとる。 ○三年生で学習したことに気をつけて「お正月」の試し書きをし、自分の学習課題を確認する。	【知識・技能】 「書き初め」という伝統文化があることを理解している。 【思考・判断・表現】 学習したことをどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習したことを活用して、書き初めをしようとしている。
		1	○三年生で学習したことと自分の学習課題に気をつけて、「お正月」を練習する。	
		1	○三年生で学習したことと自分の学習課題を確認し、「お正月」のまとめ書きをする。	
その四 横書き (折りこみ②) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○横書きの文字の整え方を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○二通りの文字の整え方を確かめて、横書きの文字の整え方を理解する。 ○数字や重さを示す単位の書き方を理解する。 ○横書きの文字の整え方を意識して、実際の書式に書いてみる。	【知識・技能】 横書きの文字の整え方が二通りあることを理解している。 【思考・判断・表現】 横書きの文字は、何に気をつければ整うのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 横書きの文字の整え方を意識して、実際の書式にも生かそうとしている。
その五 はがき・原こう用紙・手紙の書き方 (折りこみ③) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○葉書、原稿用紙、手紙の書式を理解して書くことができる。	適宜	適宜	○葉書、原稿用紙、手紙の書式を確かめて、理解する。 ○葉書、原稿用紙、手紙の書式と、これまでに学習したことを意識して、実際に書いてみる。	【知識・技能】 葉書、原稿用紙、手紙に書式があることを理解している。 【思考・判断・表現】 これまでに学習したことをどう活用すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書式を意識し、実際の場で生かそうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
その六 三年生で学習する漢字 (P49-51) ◎【知識及び技能】(3)エ(ア)(イ) ○三年生で学習する漢字を確かめることができる。	適宜	適宜	○これまでに学習した漢字の書き方に注意して、三年生で学習する漢字を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した漢字の書き方を理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの漢字に、どの書き方を活用するか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの漢字を意識して使おうとしている。